

授業改善推進プラン<生活科>

生活科における昨年度の授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>〈知識及び技能〉</p> <p>○教師が提示したものに取り組みることが多いが、楽しく取り組み、積み重ねるごとにまとめることができた。</p> <p>○ICTやワークシートを活用、工夫することで、知識を増やしたり、自分の取り組みを友達と共有したりすることができた。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <p>○生き物の成長について、どのように表現したらきれいに見えるか、どのように描きたいか自ら考え、想像しながら描く姿が見られる。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <p>○生活科を楽しみにしており、前向きに取り組む児童が多い。新しいことを知ろうという意欲が高い児童が多く、興味をもって活動できている。</p> <p>○他学年との交流を通じて、支え合うことの大切さに気付いた児童がいる。</p>	<p>〈知識及び技能〉</p> <p>●植物や生き物に対して親しみをもって関わるることができるものの、関心や意欲を持続させることが難しい。</p> <p>●児童の主体的な活動になるよう、身近なことに対して学習計画の設定。</p> <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <p>●植物や生き物の成長過程を的確に伝える力の育成。</p> <p>●気付いたことを表現する力や生育環境をよりよくするための思考力の育成。</p> <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <p>●植物や生き物に対して親しみをもって関わるることができるものの、関心や意欲を持続させることが難しい。</p> <p>●伝え合う力を育成するためには学んだことを生かせる場の設定や授業構成が必要。</p>

<生活科の授業改善策>

<p>〈知識及び技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察カードを見て植物成長の記録などを振り返る時間をつくる。 ・互いの発見や疑問を発信する場を作り、気付きの幅を広げる。 ・生活上必要な挨拶やマナーなど、日常生活の中で繰り返し行う。 ・地域の生活環境を生かしたり、児童の生活体験などの実態を考慮したりして、学習活動を計画していく。 <p>〈思考力、判断力、表現力等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察するときどのようなことが気付きとなるのか、色、形、大きさ、数などの視点を事前に示す。また、見た目だけでなく、触った感じや匂いなど様々な感覚を使って観察するように促す。 ・試行錯誤の時間を確保して改善点を考えたり、再度活動する時間を設けたりして、友達との関わりから活動意欲や内容が高められるようにする。 ・児童の思いや疑問が行動につながるように、関連の図書や資料等を用意しておく。 ・児童が楽しい、やりたいと思えるような表現方法を一緒に考え、発表の場を設ける。 <p>〈学びに向かう力、人間性等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が「自分のもの」と愛着をもてるよう、水やりやエサやりなどを通して日常的に植物や生き物に関わる環境を設定する。 ・学級全体やグループ、ペア等で自分の思いや考えを紹介したり交流したりする場を設けるようにし、友達との関わりから活動意欲を高め、気付きを深められるようにする。 ・多様な人々との触れ合いを通して、一緒に活動することのよさに気付き、協調性を育成する。 ・観察記録や体験活動に ICT を活用し、気付きの質や学びを深める。
--